

書に親しみ、そして楽しもう

産経ジュニア書道コンクールは全国の幼・小・中・高校生を対象に、書写、書道の普及・発展を目的に開催しています。この書道展を通じて青少年の皆さんが日本の伝統文化に触れ、親しむことで「健全な心」を養ってほしいと願っております。

平成元年(1989年)に第1回全国書き初め展として始まった「産経ジュニア書道コンクール」は今回で26回目を迎えました。今年の展覧会は初めて東京都美術館で行います。今年も北海道から沖縄まで、また、世界各地の数多くのジュニアから応募をいただきました。平成27年6月29日(月)に厳正な審査会を行い、文部科学大臣奨励賞から佳作までが決定しました。今年の産経ジュニア書道コンクール産経新聞特別版は特別賞の作品と氏名、中学生以下の特選受賞者、高校生の秀逸受賞者の氏名を掲載します。平成28年の募集要項は10月下旬にできる予定です。公式サイト(www.sankei-shokai.jp)、事務局(03-3275-8902)などでご確認ください。

高校生 A部門

産経新聞社賞
弘前高等学校1年 木村 風沙

この度はこのように多岐ある賞を頂き、大変嬉しく思います。高校生になり、色々なタイプの作品を書けることにも喜びを感じています。ありがとうございます。これからも書道を通じて、自分自身を成長させていきたいと思います。(木村 風沙)

蓋聞二儀有象顯覆載以含生
四時無形潛寒暑以化物是以
窺天鑿地庸愚皆識其端 風沙

北豊島高等学校2年 上原 なつめ

この度の受賞を大変嬉しく思います。千字文に挑戦しようと決意し、気持ちよく取り組みました。文字の大きさや間隔に気を配り、書き進めました。これからも書道を通じて、自分自身を成長させていきたいと思います。(上原 なつめ)

中学生以下 A部門

文部科学大臣奨励賞
小金井第二中学校2年 西嶋 香菜

素晴らしい賞を頂き、ありがとうございます。筆を持ち始めて10年が経ちました。思うように書けず辛いこともありますが、書家になることを目標に頑張りたいと思います。(西嶋 香菜)

ジュニア大賞
明徳中学校(藤崎)1年 横山 琳咲

この度は、ジュニア大賞という素晴らしい賞を頂くことができ、大変嬉しく思います。この賞を頂けたことを自信とし、これからの練習に励んでいきたいと思っています。(横山 琳咲)

五輪挑戦
中一 横山 琳咲

東京五輪への挑戦を力強く描かれた作品は、美しく完成度の高い魅力的な作品となり金メダルです。(佐々木文通)

山静似太古
中二 西嶋 香菜

心を静めて大きな呼吸に乗った雄大な筆。基本に徹した素直な筆の動きは、流れるように書かれ、書の線は澄みやかである。(高橋照弘)

書道で明るく元気な優しい心を

2015産経ジュニア書道コンクールには全国の書道、書道に携わる先生並びに関係者の皆様より、ご理解・支援をいただき開催できることを喜び、感謝し、紙面をお借りして衷心より厚く御礼申し上げます。

全国展も昨年同様、日本伝統文化である書を愛好する国内国外の青少年から約7500点の応募がありました。特に中国、台湾、南米、ロシア、ポランドなど日本の文字による出色の作品は注目されることとなりました。

現在、書写・書道教育では小中高において学習目標は異なっています。小学校中学校では書写、高等学校では書道「表現、鑑賞する」となっています。

応募作品は教育現場、書道塾等での情熱的な指導の下で、それぞれ研鑽を積み、着実に効果をあげた作品が多く、筆に自分の心を託した、明るく元気な優しい心、全員の作品を展示披露します。

今年も産経新聞社及びジュニア実行委員会のご尽力により、長年念願であった芸術の聖地ともいえる上野公園内に「東京都美術館」での開催が叶いました。東京都美術館での開催は益々、このことが大きいものがあります。出品者の意識、志気高揚はもう一つの「ジュニア展」の価値、評価、ステータスを大いに高め、躍進発展への絶好の契機と捉えています。

産経ジュニア展では青少年が伝統文化である書写・書道に親しく接し、愛することができ、誰にでも優しい心を養うことができればと願っています。

ジュニア展出品数の推移

年	出品数
2011	5,555
12	6,668
13	7,026
14	7,751
15	7,500

国際部新設

産経新聞社賞
AICJ高等学校2年 佐藤 汰一

産経新聞社賞を頂き、驚き喜びで胸一杯です。時間がたつ中で、全体の見映え、それぞれの文字の大きさ、バランスの調子など試行錯誤の連続でした。ご指導下さった先生方のおかげです。今後も一層努力していきたいと思っています。(佐藤 汰一)

独立自尊
中二 吉田 みずほ

伸びやかな線で、整った字形は格調高く、立派な作品です。埼玉県知事賞おめでとうございます。(小林紫雲)

八戸工業大学第二高等学校2年 土岐 鈴佳

この度、産経新聞社より素晴らしい賞をいただき大変感謝しております。皆様から感謝する共に、今後も初志を忘れずに増進してまいります。(土岐 鈴佳)

東京都知事賞
小岩第五中学校3年 岩田 愛美

この度は、素晴らしい賞を頂きありがとうございます。前回の時より良い作品を書き進めて一枚一枚練習してきました。高校生活になっても書道を通じていきたいと思います。(岩田 愛美)

森羅万象
中三 岩田 愛美

深く大きな意味を持つ四字熟語を選び、運筆も力強く、練度高い表現し見事な書きぶりです。(高橋照弘)

埼玉県知事賞
城北中学校(さいたま)2年 吉田 みずほ

この度は、素晴らしい賞を頂きありがとうございます。勉強と部活動の忙しさを毎日ですが、このような賞を頂くのは書道の先生やまわりの方々のおかげです。(吉田 みずほ)

〈審査員氏名一覧〉

【顧問】島村裕堂
【審査委員長】高橋照弘
【実行委員長】眞田朱燕
【審査員】赤澤幸隆、浅香秀子、生田佳葉、泉芳秋、大谷芳雨、大庭清峰、岡本杏華、小野左鷹、影山瑠琴、鴨田西竹、小林紫雲、今野美晃、佐々木天道、里芳倫、高野彩雲、戸田昌子、中村雪鷲、長谷川朋扇、吉野葉柳、丸井芭笙、荻口草川、宮平翠玲、星原芳蘭、渡辺祥華

産経国際書会理事長賞
富士高等学校(静岡)2年 佐野 瑛海

理事長賞ありがとうございます。臨書を深く学ぶ良い機会と思いい、牛欄造像に挑戦しました。角はしっかり筆を揃え、雄渾な筆を念頭に、一点一画に留意しました。日本文化・書道を通じて、自分自身を成長させていきたいと思います。(佐野 瑛海)

独立自尊
中三 鈴木 里菜

言葉の意味を表現し、切れ味のよい作品です。行書の筆運びがよく身につけています。(鈴木 里菜)

中学生以下 B部門
神奈川県知事賞
玉川中学校(川崎)3年 鈴木 里菜

部活と受験で書道の練習は減っていますが、知事賞を頂き感謝です。ご指導頂いた先生に感謝しています。更に上を目指し努力していきます。(鈴木 里菜)

世界平和
五年 佐藤 葵

一画一画の筆勢がしっかりと書かれていて、力こもった作品に仕上がっています。名前も画数は多いですがきれいです。(長谷川朋扇)

千葉県知事賞
石塚小学校(市原)5年 佐藤 葵

今回、千葉県知事賞をいただきありがとうございます。これからも、大好きな書道を通じて、さらに上の賞を目指してがんばりたいと思います。(佐藤 葵)

産経子どもニュース

産経新聞写真ニュースでは、産経子どもニュース「育て!子どもたち」を媒介として、各種キャンペーン活動をみなさまの協力のもと全国で展開しています。教育現場や地域社会への写真ニュースの掲載を通じて、豊かで潤いのある社会の創造に貢献し、次代を担う子どもたちを、皆様と共に育てていきたいと願います。

◆多様なテーマ
◆学校便り◆動物の親子・赤ちゃん
◆キャンペーン紙面
◆ビジュアル社会科 他

◆媒体概要◆(創刊)昭和54年6月18日(発行日)毎週木曜日、第三種郵便にて発行【仕様】B4判・オールカラー・4シート1セットで発行【14日発行】164枚【送料先】全国の小学校・中学校【掲載方法】校舎内の掲示コーナーや図書室等に、専用の掲示板を設置し、そこへ学校の担当教諭や担当委員会の児童生徒が、掲示します。掲示期間は1週間、掲示後は専用ファイルへ貼り、図書室等へ保管していただいています。

学校から“感謝の声”が続々と届いています!!

協賛のお申込み・お問い合わせは産経新聞写真ニュース事業部まで

◆本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田小川町1-1 TEL.03(5259)8810

◆大阪支社 / 〒564-0027 大阪府吹田市朝日町5-8 TEL.06(4860)6171
◆仙台支局 / 〒980-0803 仙台市青葉区国分町2-14-18 TEL.022(261)6301
◆名古屋支局 / 〒460-0014 名古屋市中区富士見町13-19-705 TEL.052(323)6271

“個人協賛者様”も大歓迎!!

～思い出の母校にメッセージを～

産経子どもニュース「育て!子どもたち」では、キャンペーンに協賛していただける企業様はもちろんのこと、個人の皆様にも協賛を募っています。あなた様のお名前前で1年間、母校や、ご指定された小学校あるいは中学校に「育て!子どもたち」を寄贈いたします。

◆協賛金 / 1校・1年間 85,000円(税別)
掲示用パネル・保存用ファイル付

メッセージ 提供:(ご寄贈主名)

●「育て!子どもたち」は、下記ホームページでもご覧いただけます。学習の副教材や写真ライブラリーとしてもご利用いただける内容です。
<http://www.sankeikids.com>